

目的や意図を考え、表現を工夫し書く

名前

学習日

ポイント

- ことばの意味に合った文を書きましょう。
- たとえなどの表現の工夫を考えましょう。

基本問題

1 次のそれぞれのことばを適切に用いた文を、あとから一つずつ選び、記号で答えなさい。

(1) 〈はねつける〉

ア バケツに入っていた水を、庭の花だんに勢いよくはねつける。

イ 外れないように、のりとセロテープではねつけておこう。

ウ あなたの考え方はまちがっている、ときっぱりはねつけられた。

(2) 〈そうぞうしい〉

ア あまりにそうぞうしい数なので、数え切れません。

イ みんながおしゃべりをしていて、教室の中はそうぞうしい。

ウ あのとときの悲しさを思い出すと、今でもそうぞうしい気持ちになる。

2 次のそれぞれの文章に用いられている表現の工夫を、あとから一つずつ選び、記号で答えなさい。(同じものは二度選べません)

(1) 〈ふと横を向くと、となりに立っている女の人がおんぶしている赤ちゃんが目があった。大きな目と、りんごのように真っ赤なほっぺたが印象的な赤ちゃんだった。〉

(2) 〈ホームランを打った選手は、うでを高くつき上げ、とびはねるような足どりでベースを一周しました。サヨナラホームランです。〉

ア 人物の様子をえがくことで、その人物の気持ちを表現している。

イ ものの様子を人間の動作に例えて表現している。

ウ ものの様子を別のものに例えて表現している。

エ 文末を「ものなどの名前を表すことば」で終わらせることによって、書いてあることを強調して表現している。

(1)	
(2)	

目的や意図を考え、表現を工夫し書く

名前

学習日

チャレンジ問題

1 次の(1)～(3)のことを適切に用いた文を、それぞれ書きなさい。

(1) 〈そっけない〉

(2) 〈かろうじて〉

(3) 〈おしはかる〉

2 次の(1)～(3)の表現の工夫を用いた文章を、それぞれ書きなさい。

(1) ものの様子を人間の動作に例えて表現する。

(2) ものの様子を別のものに例えて表現する。

(3) 文末を「ものなどの名前を表すことば」で終わらせることによって、書いてあることを強調して表現する。

目的や意図を考え、表現を工夫し書く

基本問題

解答	アドバイス
<p>(2) (1) 2 ア ウ</p> <p>(2) (1) 1 イ ウ</p>	<p>1 ことばを学習するときは、意味だけでなく、そのことばを用いた例文もいっしょに確かめるようにしましょう。</p> <p>2 さまざまな表現の工夫の学習は、読む力をのばすことにも役立ちます。</p>

目的や意図を考え、表現を工夫し書く

チャレンジ問題

解答	アドバイス
<p>1</p> <p>(1) (例) 母の返事はそっけなかった。</p> <p>(2) (例) わたしは、かろうじて生き延びた。</p> <p>(3) (例) 相手の表情から、気持ちをおしはかる。</p> <p>2</p> <p>(1) (例) ボールは、キーパーの手をすりぬけた。そして、そのままゴールに飛びこんでいった。</p> <p>(2) (例) そこには、落ち葉が厚く積もっていた。そっとふんでみると、じゆうたんのようになやわらかかった。</p> <p>(3) (例) 返ってきたテストを見て、おどろいた。なんと百点。うれしくて、つい声を出してしまった。</p>	<p>1</p> <p>文を実際に書く練習を通して、ことばの使い方もしっかり身につけましょう。</p> <p>2</p> <p>表現の工夫を用いることで、文章がずっと豊かになります。いろいろな表現の工夫を組み合わせる練習にもちよう戦して、より長い文章を書けるようになりましょう。</p>